

安井しんじ事務所だより

〒455-0805 名古屋市港区当知町堤外653 TEL (052) 398-0247 FAX (052) 398-3434

令和7年2月議会

教員の確保について!!

Q

安井しんじ

■議案質疑が中日新聞に掲載

養護教諭についてお尋ねします。養護教諭はほとんどの学校で1人配置となっています。児童生徒が病気、けが等や近年ではいじめ、不登校などの問題で来室する児童生徒も多く、養護教諭が一人に対応するため、対応時間が短くなってしまうなど様々な問題が挙げられます。こうした課題を解決するために、養護教諭複数配置が有効と考えます。

そこでお伺いします。どれくらい養護教諭の加配が行われるのか。また、今後はどのようにして養護教諭の増員をしていくのか、お伺いいたします。

A

教育委員長

本県独自の加配で、国の基準を下回った場合にも、基準との差が50人以内であれば、2年まで複数配置を継続いたします。国に対して養護教諭の配置拡大を粘り強く要請してまいります。

Q

次に、教員の確保についてお伺いします。小学校の教科担任制は2025年度から、これまでの5・6年生に加え、4年生にも教科担任制を拡大する方針です。そのため、愛知県全体で、専任の教員96人、非常勤の講師18人が増員されます。また、2026年度から中学校35人学級を行うことについて、2024年12月に財務大臣と文部科学大臣との間で合意がなされました。そこでお伺いします。小学校の教科担任制の拡大や、中学校の35人学級の導入に伴う定数改善による教員数をどのように確保していくのかお伺いします。

A

中学校の技術科や美術科などは志願者が少ないので、来年度からは、教員免許の有無にかかわらず、社会人の採用を中学校の技術科に広げてまいります。また、外国人児童生徒を支援するため、「登録日本語教員資格」を持つ方への加点を新設するとともに、外国語が堪能な方への加点を現在の2倍にして、必要となる教員を確保してまいります。

▲中日新聞
3月8日掲載▲アジア・アジアパラ競技大会への国からの支援を
立憲・重徳政調会長、国民・浜口政調会長に要請しました。

令和6年12月議会

農林水産委員会一般質疑

■スタートアップへの支援について

Q

安井しんじ

愛知県では、日本最大のスタートアップ支援拠点である「STATION Ai」がオープンしました。「STATION Ai」のメンバーとして農業分野に関するスタートアップはどのくらい入居しているのか、そのうち県内企業はどのくらいか、そして、本県が取り組んでいる農業イノベーションプロジェクトに参加している企業が「STATION Ai」に何社入っているのかお伺いします。

A

農業イノベーション推進室長

食も含めて農業に関連すると思われる企業は19社。そのうち県内企業は11社、あいち農業イノベーションプロジェクトに参加している企業18社のうち1社が入居しています。

Q

どのように農業関係のスタートアップ企業を本県に集ようアプローチしていくのかお伺いします。

A

愛知県が開催するあいち農業イノベーションサミットなどで、新たなスタートアップ等の発掘にもつなげています。

Q

スタートアップ企業は、経営が不安定な面があります。資金面で支えていくベンチャーキャピタルから支援を受けた農業関連のスタートアップはあるのかお伺いします。

A

あいち農業イノベーションプロジェクトに参画している株式会社トーイングは、複数のベンチャーキャピタルから資金調達を実現しており、現在その総額は10億円を超えると報じられています。

Q

県ではどのように農業関係のスタートアップ企業を農業現場等で支援していくのかお伺いします。

A

農業総合試験場や普及組織がスタートアップ企業と連携することで、支援していきます。

Q

あいちスタートアップ創業支援事業費補助金の上限額を伺います。

A

あいちスタートアップ創業支援事業費補助金の上限額は200万円です。

Q

200万円では創業が難しいのではというのが率直な感想です。経済産業局の新あいち創造研究開発補助金は中小企業1億円、トライアル型だと500万円。経済産業局と密に連携を取りながら経済産業局の補助金を利用していく中で、サポートしていくことが重要だと思いますがいかがでしょうか。

A

新あいち創造研究開発補助金等を、積極的に活用するよう後押ししていく。熱意あるスタートアップ等の有望な技術やアイデアを、時機を逃さず取り込めるよう、今後も継続的にスタートアップ等との共同研究開発に取り組んでいけるよう努めてまいります。

要望

「STATION Ai」ができ、様々な分野のスタートアップ企業が集まっています。その企業の人々に、農林水産業という言葉が頭の片隅にあることが、農林水産業に対して技術、知識を生かしていこうというきっかけになります。農林水産関連のスタートアップも含め、より多くの優秀なスタートアップ企業が本県に集うよう要望いたします。

令和7年2月議会 農林水産委員会一般質疑

■農業イノベーションプロジェクト推進費について

Q 安井しんじ



捕獲漁業生産量の推移をみると最も多かった1984年1,160万トンが2022年には300万トン弱と約75%減少をしています。魚が体内に蓄積したマイクロプラスチックや水銀など、海洋汚染においても危機的な状況にあると考えます。これらの状況を考えると湧き水や温泉等を使った陸上養殖技術はこれからの漁業において非常に重要かと思えます。また、先日EFポリマーという会社を視察してきました。

「EFポリマー」はオレンジの皮などの果物の不可食部分を使った完全生分解性の超吸収性ポリマーで、土に混ぜると土壌の水分の吸水力が向上し、乾燥地域でも作物を作ることができるようになります。地球温暖化に対応する重要な農業技術です。

そこで質問です。農業イノベーションプロジェクトにおいて、技術提案を採択する場合、環境問題に対応するプロジェクト課題に対する考えをお伺いします。

A 農業イノベーション推進室長

農業分野において、担い手減少などの従来からの課題に加え、気候変動など環境問題は解決すべき重要な課題であります。あいち農業イノベーションプロジェクトにおいても環境課題を含んだ農業課題解決のため、スタートアップ等を公募し、イノベーションの創出につなげていきます。

3会派予算編成へ要望
県議会の員、あいち民主、公明の3会派は22日、県公館を訪れ、大村秀章知事に2025年度予算編成に関する要望書を手渡しした。
あいち民主は森井元志団長ら4人が訪問。要望書では、保育士不足の解消のため、保育士を目指す学生らを対象とした奨学金の拡充を求めたほか、水素社会の実現に向け、「モノづくり王国」の特性を生かす形で社会実験を推進するよう要望した。



大村知事（右から3人目）に予算要望を行うあいち民主の役員

▲中日新聞 1月23日掲載



愛知万博20周年記念事業
愛・地球博20祭
2025 03.25(木)・09.25(木) @愛・地球博記念公園 (入場無料)
愛知万博20周年記念事業実行委員会

名古屋港管理組合

■公営企業会計決算特別委員会質疑

Q 安井しんじ

東海市から返還された新宝緑地運動公園跡地については令和6年11月より分譲手続きを開始しているのに、なぜ令和5年度に敷地の一部を東邦ガスへ売却したのですか。

A 名古屋港管理組合

今年度の「新宝緑地運動公園跡地の分譲」に先立ち、既に敷地内に埋設されているガスの敷地を東邦ガスに売却しておく必要があったためです。

Q 新宝緑地運動公園跡地の分譲公募は、現在募集中の状況かと思いますが、購入希望者の反応はいかがでしょうか。

A 今回の分譲地は、多くの事業者から電話や直接の訪問を受けております。

要望 今後も企業会計の安定的な経営のため、収入の確保に積極的に取り組んでほしいと思います。



住環境の整備



笑顔があふれる港区に!

地域の方々のお声をもとに、安心安全な街作りに取り組んできました。これからも地域の皆様とともに住みよいまちづくりを進めてまいります。

土 古 町



▲愛知県内に2箇所しかない歩行者センサー付きライトを整備しました。

西 福 田



▲信号待ち車両すれ違いのため、交差点の東へ標識を移動しました。

楽しい後援会行事



■是非、ご参加ください。

港区 女子ソフトボール「スピリッツ」



安井伸治が顧問を務める女子ソフトチーム「スピリッツ」全国大会3位の実績!! 只今、部員募集中(小1から)

問い合わせ先 090 7265 9776 (山崎監督)

地域のこと・行政に関するご相談は安井しんじ事務所へお寄せください!

安井しんじ一般質問が
(縮小版)
YouTube でご覧頂けます。

YouTube 安井しんじ

検索

■皆様から頂いた貴重なご意見をこれからも行政に反映して参ります。



愛知県議会議員

安井しんじ事務所

〒455-0805 名古屋市港区当知町堤外653 2階
(※駐車場あります ※油屋町1丁目バス停下車)

TEL (052) 398-0247 FAX (052) 398-3434

E-mail: sinzi_yasui@yahoo.co.jp URL: http://sinzi.jp/

